

2-3 粗死亡率・年齢調整死亡率(人口千対)の推移

	粗死亡率 ¹⁾			年齢調整死亡率 ²⁾	
	総数	男性	女性	男性	女性
昭和25年 (1950)	10.9	11.4	10.3	18.6	14.6
昭和35年 (1960)	7.6	8.2	6.9	14.8	10.4
昭和45年 (1970)	6.9	7.7	6.2	12.3	8.2
昭和55年 (1980)	6.2	6.8	5.6	9.2	5.8
平成2年 (1990)	6.7	7.4	6.0	7.5	4.2
平成7年 (1995)	7.4	8.2	6.6	7.2	3.8
平成12年 (2000)	7.7	8.6	6.8	6.3	3.2
平成17年 (2005)	8.6	9.5	7.7	5.9	3.0
平成18年 (2006)	8.6	9.4	7.8	5.7	2.9
平成19年 (2007)	8.8	9.6	8.0	5.6	2.8
平成20年 (2008)	9.1	9.9	8.3	5.6	2.8
平成21年 (2009)	9.1	9.9	8.3	5.4	2.7
平成22年 (2010)	9.5	10.3	8.7	5.4	2.7
平成23年 (2011)	9.9	10.7	9.2	5.5	2.9
平成24年 (2012) [*]	10.0	10.7	9.3

資料 厚生労働省「人口動態統計」

注 1) 年齢調整死亡率と併記したので粗死亡率と表したが、単に死亡率といっているものである。

2) 年齢調整死亡率の基準人口は、「昭和60年モデル人口」であり、年齢5歳階級別死亡率により算出した。

* 概数である。